

## 2019年度 山手学院学校目標

学校目標	取組の内容	
	具体的な手立て	評価の観点
国際理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーストラリアホームステイ、北米研修プログラム等、既存のプログラムの安定的継続と、短期中期留学の定着を図り、生徒のニーズにきめ細かく対応して行く。</li> <li>・模擬国連への参加の意義を生徒の意識の中にしっかりと定着させ、積極的参加のための環境と機会を整備して行く。</li> <li>・留学制度及び国際交流教育の新しい可能性を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規開拓地との信頼関係の構築。</li> <li>・リターンビジットの安定的受け入れ状況。</li> <li>・短期及び中期留学の充実と成果。</li> <li>・模擬国連参加希望生徒の人数増とレベルアップ。</li> <li>・留学希望生徒への対応状況。</li> </ul>
確かな学力の向上とキャリア教育の充実・発展に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領に対応したカリキュラムとコース制を策定する。</li> <li>・「生徒による授業評価」を受け、授業改善と教科指導力向上を図る。</li> <li>・新しい授業方法、授業内容を検討し実践する。</li> <li>・Wi-Fi環境やタブレット、電子黒板等、ICTを活用した教育実践に取り組む。</li> <li>・講習の充実とWeb学習システムの活用により補習の実効性を高める。</li> <li>・国公立大、難関私大への進学について、入試内容の改編に即応して行くべく、分析とフィードバックに努める。</li> <li>・生徒の希望進路実現に向け、進路指導部が蓄積した情報とノウハウを駆使した適切な進路指導に取り組む。</li> <li>・新しい時代に生徒自身が新たな仕事を創造できるような山手学院のキャリア教育を、分掌間や学年会間で連携して構築する。</li> <li>・eポートフォリオへの対応と、作成へのサポート体制を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新カリキュラムと新コース制の学内共有と校外発表。</li> <li>・アンケート結果の検証。</li> <li>・授業研究実施数増。研修会実施状況。</li> <li>・ICT活用方法の研究と効果の振り返り状況。</li> <li>・講習参加生徒数と満足度。学習システムの活用度状況と効果。</li> <li>・国公立大、難関私大への進学実績の継続的伸長。</li> <li>・きめ細かな進路相談。</li> <li>・保護者説明会の実施と内容の充実。</li> <li>・教科、分掌間の連携と成果確認。</li> <li>・職業体験、職場見学等の充実。</li> <li>・道徳の内容を踏まえた中学学年の時間、探究活動の充実。</li> <li>・eポートフォリオへの対応状況の共有化と今後の方針検討。</li> </ul>
課外活動の更なる充実に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の自主的・自律的で活気のある活動を促す。</li> <li>・課外活動においても、山手生として礼儀正しく、一人前の大人として振る舞えるよう、生徒の意識を高めて行く。</li> <li>・多様な課外活動の模索と教育的成果の拡大を図る。</li> <li>・生徒会活動の充実と周知を図る。</li> <li>・HR活動・学校行事・学年行事の充実を図る。</li> <li>・クラブ活動において安全で適切、かつ効果的な指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課外活動を通じての地域や校外団体との交流機会増。</li> <li>・部活動加入率維持。</li> <li>・校外団体との交流における山手生意識と言動の実態。</li> <li>・課外活動の紹介と参加奨励、生徒の参加状況。</li> <li>・生徒会活動における在校生徒や保護者の認知度向上。</li> <li>・山手祭の広報活動と来場者数増。</li> <li>・スポーツ大会、校外学習、遠足、合唱コンクール等行事における生徒の達成感と満足度。および教育的効果の検証。</li> <li>・活動日、時間、内容の精査と平素の下校時間の厳守。</li> <li>・夏期猛暑対策の取り組み状況。</li> </ul>
健やかな心・思いやりの心を育むきめ細やかな教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の状況に応じたきめ細やかな教育相談・健康相談に取り組む。</li> <li>・いじめに類する事案の発生を未然に防ぐべく情報収集に日常的に努める。</li> <li>・学校教育・学校生活全般を通じ、誠実教育の定着を図り他者の人生をRespectする姿勢を涵養する。</li> <li>・山手生としてのふさわしいマナー・身だしなみを育む。</li> <li>・教育環境の整備や校内美化に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談室の有効活用状況。養護教諭との連携。</li> <li>・特別支援教育校内委員会の活動充実。</li> <li>・年2回のアンケート調査実施とその後の対応。</li> <li>・通学時のマナー徹底。登校指導の強化。</li> <li>・日々の生活指導状況。</li> <li>・学年の時間の内容充実。</li> <li>・制服の着こなし。挨拶の励行。</li> <li>・平素清掃区域の見直しと清掃活動状況。細部の清掃徹底状況。</li> </ul>
地域等に信頼される学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価システムを推進し、学校運営の改善に努める。</li> <li>・地域との積極的連携の拡充・定着を図る。</li> <li>・父母の会・同窓会・後援会等の学校関係団体との連携を更に深める。</li> <li>・HP、学校説明会等による広報活動の更なる推進に取り組む。</li> <li>・学校説明会の充実を図る。</li> <li>・事故・不祥事防止に向けた取り組みを推進する。</li> <li>・シーン別の危機管理マニュアルの充実と更新を図って行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評議員会での助言の反映状況。</li> <li>・諸行事における密なる相互連絡状況。</li> <li>・地域からの評価。苦情やトラブルの減少。理解者の増加。</li> <li>・各団体からの評価。四者会議の内容充実と連携状況。</li> <li>・ホームページの充実と活用。</li> <li>・説明会参加者数増。志願者数の増加。</li> <li>・点検とチェックの実践状況。ミスや事故の発生状況。</li> <li>・指導指針の策定と運用状況。教職員の意識改革。</li> <li>・教職員研修会の実施と振り返り。</li> <li>・実効性のある教員配置。</li> </ul>